

事務事業 No./名称	□サービス部門 ■支援部門 市民-26 住居表示事業										
主管課	市民課	関連課									
分野名	市街地整備										
目標 (目標値)	住居表示の実施促進を図る (住居表示実施対象面積に対する目標実施率100%)										
人口等のデータ	データ区分	25年度	24年度	23年度	備考						
	人口	177,895人	177,224人	177,204人	・各年4月1日 (住民基本台帳)						
	世帯数	80,295世帯	79,669世帯	79,217世帯							
	事業の対象者数										
運営資源状況	決算値(千円)	2,168	2,321	45,460							
	(国・県)			42,525							
	(負担金等)										
	(一般財源)	2,168	2,321	2,935							
	人員配置数	1.6人	1.6人	1.6人							
	人件費(千円)	12,205	12,873	13,747							
	協働のパートナー										
事務事業 運営経費	総事業費(千円)	14,373	15,194	59,207							
	市民1人当りの経費(円)	81	86	334							
	対象者1人当りの経費(円)										
ベンチマーク(県内 外自治体や民間団体 との比較値)	団体名⇒	横浜市	平塚市	藤沢市	茅ヶ崎市	逗子市	小田原市	大和市	横須賀市	三浦市	
	25年4月現在の 住居表示実施 率	36.06	35	33.58	44.32	49.77	9.18	38.88	60.68	6.97	
指標	評価	年度	22年度	23年度	24年度	25年度	最終年度(27年度)				
住居表示実施率	△	目標値	60	60	60	60	75				
		実績値	57.8%	57.8%	57.8%	57.8%					
◎目標を達成 ○目標に向かって前進 △横ばい ×後退											

中事業に含まれる小事業の方向性(⇒個別事業の概要は裏面)

(千円)

H25小事業名	H25決算値	H26小事業名	H26予算額	A: 充実・拡大 B: 現状継続 C: 改善・見直し D: 統合縮小 E: 廃止・休止		
住居表示事業	2,168	住居表示事業	2,168	今後の方向性	B	理由・手法
				今後の方向性		理由・手法
				今後の方向性		理由・手法
				今後の方向性		理由・手法

中事業の評価(事務事業の課題、取組状況、今後の方向性)

H25年度の課題	未実施地区であっても居住している方が住所について不便を感じていないという意見あり。実施には地元住民の多数の賛成が必要であるが、地元の合意形成ができていないのが実情である。										
課題解決のための取組	腰越、津の住居表示未実施地区については、26年度の Newtown・自治会長のご意見と会長の認識している地域の声を聞くこととした。								取組の結果	□解決 ■未解決	
未解決の課題	住居表示を実施しても住所変更等の手間がかかるため、メリットが少ないと考える住民が多く、そのことについては尊重していかないといけない部分でもあり、大方の理解を得ることが難しい。										
中事業の評価	適切=○ 改善=△ [2面「評価の視点」を参照] □			①効率性	○	②妥当性	○	③有効性	○	④公平性	○
今後の方向性 (課題解決に向けた取組 ・H26予算への反映)	法律に基づく事業であるが、地元とよく話し合っを進めていくものであるため強制的に実施できるものではない。住居表示制度がもたらす利便性や必要性について市から自治会等に情報発信をして、実施要望があれば積極的に対応する。						A: 充実・拡大 B: 現状継続 C: 改善・見直し D: 統合縮小 E: 廃止・休止		B		
※□事業完了											

評価者名

市民課長 鶴見 俊之

(2面) 小事業・個別事業の評価

評価のポイント

評価の視点	①効率性	事業費や人件費に削減余地はないか。	②妥当性	事業の目的と政策・施策体系の目標とが整合しているか。法的な根拠や公的関与の妥当性はあるか。
	③有効性	事業の成果が得られているか。事業を休止・廃止した場合影響があるか。	④公平性	受益機会が偏っていないか。受益者負担は公平・公正か。

(単位:千円)

小事業名	事業概要				【小事業の評価】 評価⇒適切=○、要改善=△				
					①効率性	②妥当性	③有効性	④公平性	
住居表示事業	住居表示実施地区内の新築建築物の住居表示番号の付番を行った。				○	○	○	○	
	主な個別事業	タイムコード	個別事業名	25年度当初予算	25年度決算値	【個別事業の評価】 評価⇒適切=○、要改善=△			
		594	事務補助嘱託員報酬 1人	1,029	1,028	①効率性	②妥当性	③有効性	④公平性
		594	街区表示板等消耗品費	600	600	○	○	○	○
		594	街区案内板等維持修繕料	450	449	○	○	○	○
594	街区表示板更新業務委託料	99	91	○	○	○	○		
※ <input type="checkbox"/>	事業完了								
小事業名	事業概要				【小事業の評価】 評価⇒適切=○、要改善=△				
					①効率性	②妥当性	③有効性	④公平性	
	主な個別事業	タイムコード	個別事業名	25年度当初予算	25年度決算値	【個別事業の評価】 評価⇒適切=○、要改善=△			
						①効率性	②妥当性	③有効性	④公平性
※ <input type="checkbox"/>	事業完了								
小事業名	事業概要				【小事業の評価】 評価⇒適切=○、要改善=△				
					①効率性	②妥当性	③有効性	④公平性	
	主な個別事業	タイムコード	個別事業名	25年度当初予算	25年度決算値	【個別事業の評価】 評価⇒適切=○、要改善=△			
						①効率性	②妥当性	③有効性	④公平性
※ <input type="checkbox"/>	事業完了								
小事業名	事業概要				【小事業の評価】 評価⇒適切=○、要改善=△				
					①効率性	②妥当性	③有効性	④公平性	
	主な個別事業	タイムコード	個別事業名	25年度当初予算	25年度決算値	【個別事業の評価】 評価⇒適切=○、要改善=△			
						①効率性	②妥当性	③有効性	④公平性
※ <input type="checkbox"/>	事業完了								